

5

安全研究所の取り組み

ヒューマンファクターは安全マネジメントの確立に必要な基盤であり、ヒューマンファクターに特化した研究所として2006年6月に安全研究所を設立しました。安全を支える「人」のプラス面、マイナス面、両方について十分に理解するための教育を行うとともに、大学や鉄道総合技術研究所などの社外の研究機関や他鉄道会社などと連携して、ヒューマンエラーが発生しにくい装置や機器の具体化、手順の最適化、お客様の安全（転落・接触）などの研究・調査を進めています。

安全研究所の主な研究テーマ

- ・鉄道トンネル火災事故における避難行動と救助活動
- ・踏切道における高齢歩行者の行動特性に関する研究
- ・駅でのスマートフォン利用に関する調査
- ・連続ホーム柵が運転士に与える心理的負担について

教材「事例でわかるヒューマンファクター2(リーダー編)」の発行

安全研究所では、2007年3月末にヒューマンファクターとは何かをやさしい表現でわかりやすく解説した教材「事例でわかるヒューマンファクター」を作成し、「いつでも」「どこでも」「だれ(現場第一線の社員)にでも」役立つことを目指し、社員教育や社員の自学自習に役立ててきました。

さらに、2017年3月末には、現場第一線の管理監督層に知ってほしい事項

- ・1人ひとりの部下のやる気をどうやって引き出し、育成していくのか
- ・どうすれば部下とのコミュニケーションが良くなるのか。周囲との意見が対立した場合にどうするのか
- ・自分の担当するチームの中での意見をまとめていくにはどうすれば良いのか

をテーマとして取り上げ、事例を踏まえながら考える教材として「事例でわかるヒューマンファクター2(リーダー編)」を発行しました。現場の管理層を中心とした社員教育や自学自習に役立てています。



事例でわかるヒューマンファクター2(リーダー編)

6

お客様・沿線の皆様との連携

6-1 お客様に安心してご利用いただくために

テロ対策・防犯

主な駅や新幹線の車内には、防犯カメラを設置しているほか、一部の駅では視認性を高めた透明のゴミ箱を設置するなど、テロ対策など防犯に関する取り組みを行っています。新幹線の防犯カメラは、既存のデッキ部だけでなく、客室内およびデッキ通路部への増設も推進しており、さらなるセキュリティの向上を図っています。また、警察や消防にもご協力をいただき、不審物を発見したときの対応など、テロ対処訓練も実施しています。

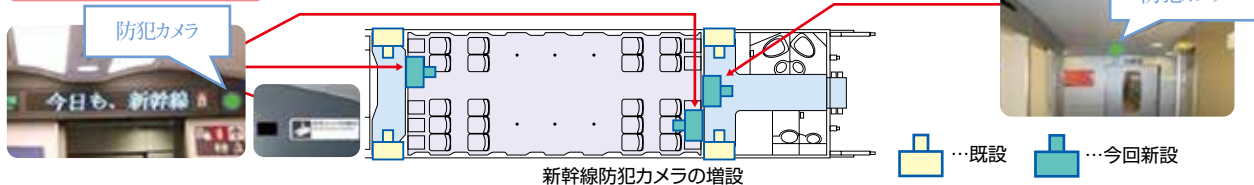


テロ対処訓練

【お客様へのお願い】

・駅構内や車内で不審物、不審行為を発見された場合は、駅係員や乗務員にお知らせください。

防犯カメラの設置



子ども110番の駅

地域の子どもたちにとって安全な環境づくりに貢献するために、日本民営鉄道協会と連携して、「子ども110番の駅」を実施しています。目印となるステッカーを見て駅に助けを求められた場合、子どもを保護し、必要により子どもに代わって110番通報などを行います。



目印となるステッカー